



竜北生の「矜持」をもって！

校長 尾崎 淳一

- 教え子が、たのしそうに授業に参加していた。
- 子どもたち同士で、しっかりとコミュニケーションをとり、たのしそうに授業を行っていた。
- 生徒がとても主体的で、学びをたのしむ姿が見られた。
- 子どもたちの反応が良く、素敵な授業だった。
- 小学校の卒業生に会ったが、皆いい顔をしていて嬉しかった。
- 自分の考えをもち、仲間の意見や教師の問い合わせを受けて考え方を深める生徒の姿が見られた。
- 生徒が前向きに取り組む姿は素晴らしい。
- 教師の発問に対する、生徒のレスポンスが速かった。
- 生徒が教師や仲間を信頼している感じがして、安心して授業を受けている様子が伝わってきた。
- 実験中、生徒が楽しそうに試行錯誤している姿が印象的だった。
- 授業はもちろん、生徒が生き生きと過ごしている様子が見られた。
- 一生懸命に課題に向き合い、考えている生徒の姿が印象に残った。
- 生徒が、「浮力」の計算をしっかりと身に付けていて感心した。
- 生き生きと授業に向かう生徒の姿は、とてもよかったです。
- 明るい雰囲気の学校で、とてもよかったです。
- どの授業も、生徒と教師の生き生きとした姿が見られた。
- 授業態度が素晴らしい、互いの考え方を聴き合う生徒の姿が、温かい教室の雰囲気を作っていた。



上の文は、23日（木）に開催した研究発表会「学びをたのしむ竜北生ー生徒と教師が共に育つ学校づくり」に参加してくださった教員のアンケートから、ほんの一部を抜粋したものです。当日の授業の様子から、多くの方が竜北生の皆さんの「よさ」に気付き、嬉しいメッセージをくださいました。日頃から学びをたのしんできた成果ですね。

私は、歴史ある竜北中学校の名誉ある第12代校長【尾崎淳一】ですから、当然、竜北生の皆さんの「よさ」をたくさん知っていますし、何よりも竜北生を応援しています。そして、それは竜北中学校の教職員、いわゆる「ファミリー竜北」の共通の想いです。今回の研究発表会では、きっと竜北生の「大ファン」が増えたことと思います。私にとって、竜北生の素敵さ・素晴らしいところを多くの人に伝えられたのは、何よりも嬉しいことです。

しかし、私も油断していると、「令和7年度『竜北生ファンクラブ』第1号」の座を新規会員に脅かされるので、竜北生の「よさ」を3つに絞って、改めて皆さんに伝えます。

- ① 自分の「全力」を出して頑張ること。授業でも部活でも行事でも、清々しさを感じます！
- ② 学校を「大切」にできること。ごみも落書きもない。ロッカーも美しい。感謝の一言です！
- ③ 「よさ」を発揮できる集団であること。仲間を認める温かい空気は、とても心地よいです！

「矜持」（きょうじ）という言葉があります。その意味は「自分の能力を信じて、誇りを抱くこと」で、英語では「P R I D E」ですね。竜北生の皆さんには特に意識せどとも、毎日の「竜北ライフ」がとてもハイ・クオリティーなものであることが、アンケートから実証されました。これからも、竜北生としての「矜持」を胸に、学びをたのしめましょう。

次は文化祭ですね。ノリノリでナウいフェスティバルを期待します。『竜北生、G o !!』

文化祭を来週末に控え、各クラスの合唱練習に熱が入ってきました。竜北生の合唱は素晴らしいと噂に聞くので、本番の舞台が楽しみです。また、PTA出し物の練習もスタートしました。歌もダンスも得意な私には、練習の必要はありません！もちろんウソです……。